

2. 地域別将来まちづくり構想

地域別将来まちづくり構想は、地域ごとのまちづくりの基本的な考え方や方向性を示したもので

また、地域に生活する住民の皆さんの視点を重視し、地域協議会の委員の皆さんに示していただいた「地域のまちづくりの重要方針（骨太方針）」、「地域のまちづくりの考え方（課題を解決するための取り組み・アイデアの例）」及び「地域のまちづくりのテーマ」を総合的に勘案して、以下の構成で作成しています。

（1）地域のまちづくりのテーマ・骨太方針

（地域協議会結果から整理）

- ・地域のまちづくりのテーマは、地域の現状やまちづくりの課題、また、まちづくりの基本方針等を総合的に勘案して、地域としてのまちづくりの目標を一言で言い表したもので。テーマは、地域協議会の委員の皆さんに考えていただいたものを参考に設定しています。
- ・地域のまちづくりの骨太方針は、地域のまちづくりのテーマを踏まえ、まちづくりを進めていく上で特に重要な方針を列挙したものです。テーマ同様、骨太方針についても、地域協議会の委員の皆さんに整理していただいたものを参考に設定しています。

（2）地域の概況

- ・地域の自然的状況や社会的状況、また土地利用の現状や都市施設の整備状況などについて整理しています。

（3）地域づくりの基本方針（地域協議会結果から整理）

- ・地域協議会で示された「地域のまちづくりの考え方（課題を解決するための取り組み・アイデアの例）」などを踏まえ、都市計画マスタープランとしての、地域のまちづくりの基本方針を整理しています。このうち、骨太方針との関連性が強い基本方針は、方針先頭に **骨太1** などと表示しています。
- ・全体構想の「分野別基本方針」の構成にならい、「土地利用・市街地整備」、「交通」、「環境」、「防災」及び「景観」の5項目に分類して整理するとともに、図面上での表現が可能なものは、将来まちづくり構想図に示しています。
- ・地域協議会からの提案やアイデアは、その内容に応じて、基本方針そのものや基本方針の項目、また構想図上（番号処理し、別表を添付）への関連づけを行っています。



2-4 内田地域 将来まちづくり構想

(1) 地域のまちづくりのテーマ・骨太方針（地域協議会結果から整理）

《地域のまちづくりのテーマ》

美しい川の流れと心和む田園風景に‘ふるさと’を感じるまち 内田

《地域のまちづくりの骨太方針》

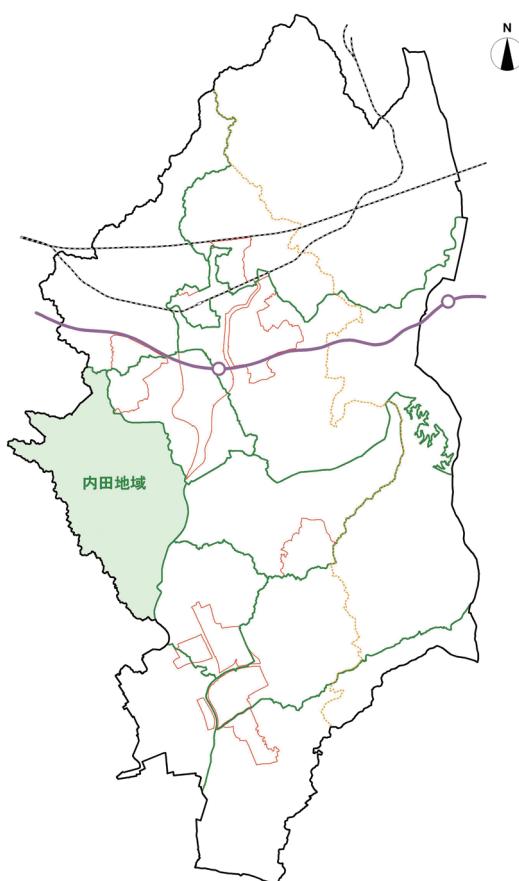
骨太1 地域活性化のための農地の有効利用 《土地利用》

骨太2 安全で利便性の高い道づくりと公共交通の充実 《交通》

骨太3 豊かな自然・歴史を次の世代に残すまちづくり 《環境》

骨太4 避難地の確保と防災事業の推進による災害に強いまちづくり 《防災》

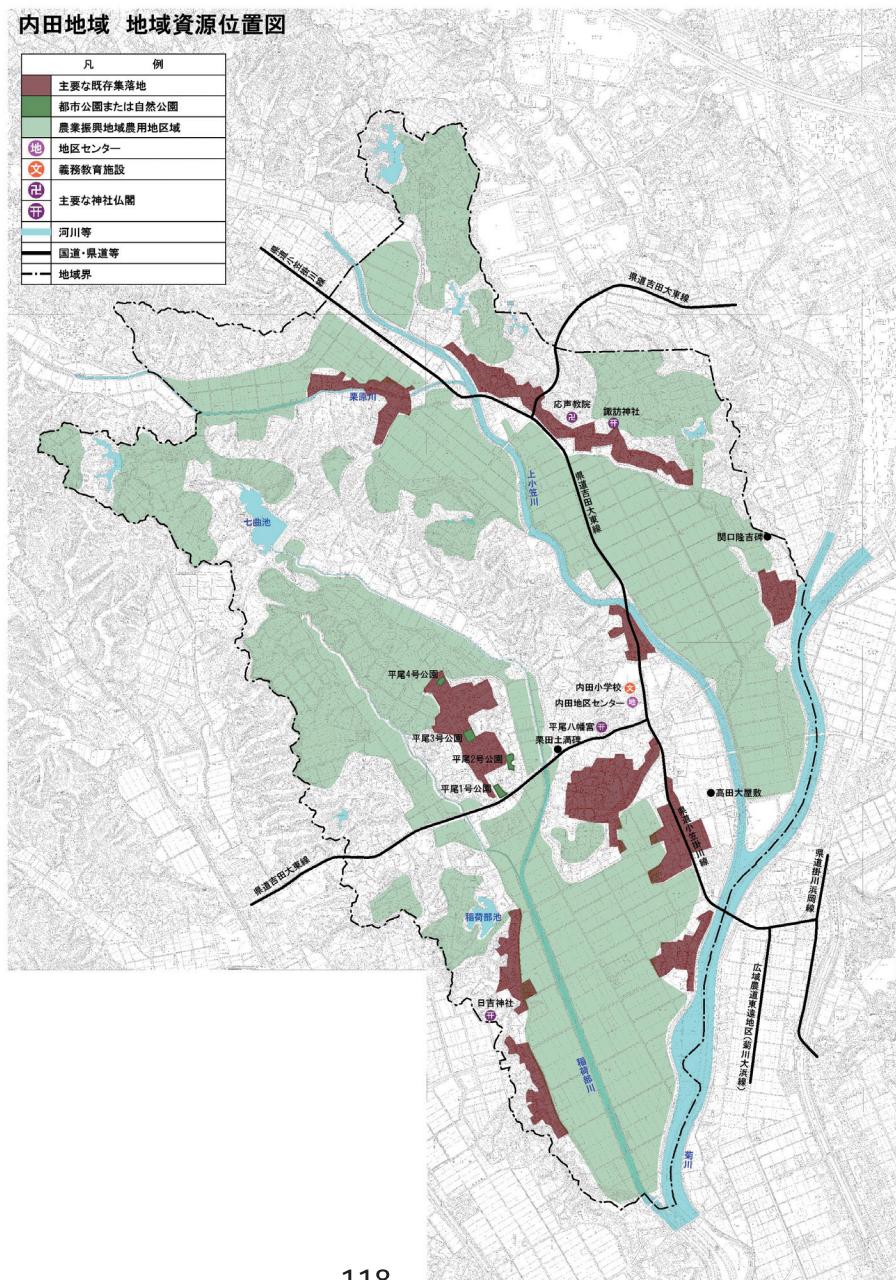
骨太5 地域の顔となる田園風景の保全 《景観》



(2) 地域の概況

①地域の概況

- ・地域東側の地域界に沿って、菊川が南方に向かって流れています。これに地域を貫流する上小笠川と稻荷部川が合流しています。
- ・上小笠川や稻荷部川周辺一帯は一団の農地が見られます。農地の大部分は水田となっていますが、地域中央部から西部にかけての丘陵地には茶畠も多く見られます。
- ・幹線道路は、県道小笠掛川線の南北方向の幹線道路と、県道吉田大東線の東西方向の幹線道路が、地域中央部で結節・重複するように配置されています。
- ・幹線道路の沿道周辺を中心に、集落地が各地に散在しています。また、地域のほぼ中央部では、県道吉田大東線の沿道に開発により整備された平尾団地が立地しています。
- ・地域のほぼ中央部、県道吉田大東線と県道小笠掛川線の結節点付近において、義務教育施設である内田小学校と、地域活動の拠点である内田地区センターが立地しています。
- ・地域内に都市計画道路は配置されていません。また都市公園は平尾団地のみに配置されており、街区公園として機能している平尾1号公園～4号公園が供用中となっています。



(3) 地域づくりの基本方針（地域協議会結果から整理）

①土地利用・市街地整備に関する地域づくりの基本方針 (健全で効果的な土地利用を推進する地域の実現に向けて)

一団の優良農地を保全するとともに、耕作放棄地等の有効活用を検討します。

骨太1 ■水田や畠など地域全域に広がる優良農地の保全を図ります。また、地域に散在する耕作放棄地や農業利便性の低い農地については、関係機関との連携・調整を図るとともに、土地所有者の協力を得ながら、農業希望者への貸し出しや市民農園としての活用など、新たな農地活用の方向性について検討を進めます。

【参考】関連する提案・アイデア（地域協議会意見）

- ・耕作放棄地の農地としての利用復活（農業事業法人化または大型耕作者への作付け依頼など）
- ・耕作放棄地の市民農園としての整備・貸し出し
- ・耕作放棄地のミニ公園化（花畠・花壇・散歩道等）による「いやし・交流の場所」としての利用
- ・耕作放棄地における公共施設立地の検討（保育園+住宅地など）
- ・使い勝手の悪い農地の他用途への転用（月岡地区）

J A施設跡地における適切な土地利用指導を行います。

■施設の移転により生じたJ A内田支店跡地については、周辺の住環境や自然環境に配慮した適切な土地利用指導を行います。また、近接する内田小学校や内田地区センターと合わせた地域活動拠点として、有効な土地利用を検討し、地域コミュニティ活動の場としての活用の検討を進めます。

②交通に関する地域づくりの基本方針

(生活や産業を支える交通体系が整った地域の実現に向けて)

人に優しい歩行者空間の創出と安全・安心な生活道路の整備を推進します。

骨太2 ■幹線道路については、ユニバーサルデザインを取り入れた歩道の新設や、既設歩道のバリアフリー化を推進し、安全・安心な歩行者空間の創出を図ります。特に県道吉田大東線の篠田橋や県道小笠掛川線の高田橋などについては、重点的な歩行者安全対策を図ります。

骨太2 ■住宅地や既存集落での生活道路、また交通事故の発生危険性が高い生活道路では、街路灯などの交通安全施設の設置や自動車の走行速度抑制施設の設置を総合的に検討し、適切かつ効果の高い交通安全対策を講じます。

骨太2 ■生活道路における交通利便性を高めるため、必要に応じた道路拡幅を推進します。

【参考】関連する提案・アイデア（地域協議会意見）

- ・安全・安心な交通社会の実現に向けたルールづくり
- ・地区内主要道路の歩道・自転車道等の完全設置
- ・生活道路の拡幅による交通利便性の確保（緊急車両等）
- ・県道吉田大東線通行車両の速度抑制策の実施
- ・富士山静岡空港等へ連絡する幹線道路の整備・ネットワーク化

地域住民の足となるバス交通ネットワークの維持と利用促進を図ります。

- 骨太2** ■菊川市コミュニティバスの維持に努めます。地域住民のバス利用に関する需要やニーズを踏まえながら、運行ルート・時間やフリー乗降区間の適正化などにより、利便性の向上による利用促進を図ります。

【参考】関連する提案・アイデア（地域協議会意見）

- ・免許証の自主返納等による公共交通利用機会の拡大・自動車保有台数の縮小化
- ・電気自動車・ハイブリッド車などの普及促進

③環境に関する地域づくりの基本方針

（水・緑にあふれ、環境にやさしい地域の実現に向けて）

上小笠川や稻荷部川などの河川の保全とまちづくりへの活用を図ります。

- 骨太3** ■地域を縦断するように流れる上小笠川や稻荷部川、栗原川については、地域の重要な自然資源として、また動植物の多様な生息環境を提供する場として保全を図るとともに、親水公園やウォーキングコースなどの整備により、地域住民が気軽に水・緑に触れることのできる水辺交流空間の創出とネットワーク化を図ります。
- 七曲池や稻荷部池などは、周辺の豊かな自然環境と一体的に保全するとともに、地域住民の親水スポットとして活用を図ります。
- 菊川と上小笠川の合流地点に位置する下内田グラウンド（南部農村公園）については、安全性を確保し、地域住民が交流する広場として有効な活用を図ります。
- 河川への愛着を深めるとともに、自然環境保全の意識を地域全体で高めていくため、草刈りや花の植え付けなど、地域住民やボランティアとの協働による美化活動を推進します。
- 平尾団地内公園の適切な維持管理を図るとともに、地域住民が憩い・交流する生活に身近な公園の整備等について検討します。

【参考】関連する提案・アイデア（地域協議会意見）

- ・上小笠川への水路における魚道施設の保全
- ・地域の中核となる公園整備と公営老人施設の設置

快適で衛生的な住環境の創出と公共用水域の水質向上を図ります。

- 快適で衛生的な住環境を創出するため、菊川市公共下水道が供用開始された地区については、宅内から下水管への接続を推進して、菊川等公共用水域の水質向上を図ります。また、公共下水道の予定処理区域外については、単独浄化槽から合併浄化槽への設置替えを促進し、汚水の適切かつ効率的な処理を図ります。

④防災に関する地域づくりの基本方針 (風水害や地震・火災に強い地域の実現に向けて)

災害危険箇所の早期発見・解消に努めます。

■ かけ崩れの危険がある箇所や水害危険箇所などの災害が発生しやすい箇所について、地域住民と行政の連携により日常的な点検を推進するとともに、早期の危険性解消に努めます。

水害に強いまちづくりを推進します。

骨太4 ■ 上小笠川や稻荷部川など、河川が貫流する本地域においては、大雨時の河川氾濫や内水被害の発生を防止するため、堤防改修や河床浚渫などを促進します。また、稻荷部川上流に位置する七曲池については大雨時や地震時等においても下流域に危険が及ばないよう、日常の維持管理を徹底します。

骨太4 ■ 地域北部や西部に広がる山林の保全と適切な維持管理を推進し、山林が有する保水機能の維持・向上を図り、雨水の表層流出を防止します。

地震等災害への備えが充実したまちづくりを進めます。

骨太4 ■ 災害時における安全・円滑・確実な避難行動を実現するため、安全が確保された避難地や避難経路を確立するとともに、避難所における防災資機材や災害備蓄食糧などの充実を図ります。

■ 地域全体の防災力の向上・強化を図るため、効果的な防災訓練の実施や防災情報の周知・浸透、また防災倉庫などの充実を図ります。

■ 住宅等の耐震化や家具の転倒防止対策などを促進するとともに、災害時の連絡方法の確立を図るなど、災害に備えた日常的な取り組みを地域全体で推進し、地域住民の自主防災意識を高めます。

【参考】関連する提案・アイデア（地域協議会意見）

- ・ 民生委員・自治会等による防災活動の深化・発展
- ・ 同報無線の充実
- ・ 防火用水の設置及び水源確保
- ・ 大規模避難地の確保
- ・ 避難地の安全性の確認及び見直し（平尾団地等における避難地の確保）

⑤景観に関する地域づくりの基本方針 (魅力的で個性的な地域の顔づくりの実現に向けて)

地域の特徴を表す自然景観の保全を図ります。

- 稲荷部池などのうるおいのある水辺風景の保全を図ります。
- 骨太5** ■ 地域にうるおいをもたらす田園風景を残すため、上小笠川や稻荷部川周辺に広がる一団の水田の保全を図ります。
- 稲荷部川周辺から富士山を望む、良好な眺望景観の保全を図ります。

地域の暮らしに身近な歴史・文化的資源の保全を図ります。

- 応声教院や平尾八幡宮、また高田大屋敷などの地域に残る多くの歴史・文化的資源を保全し、周辺の自然環境と調和した心の和む景観として保全を図ります。
- 地域の歴史や文化を再認識するとともに、地域内外へのPRを図るため、広報誌等による偉人の紹介や記念イベントの開催など、歴史・文化的資源を有効活用したまちづくり活動を推進します。

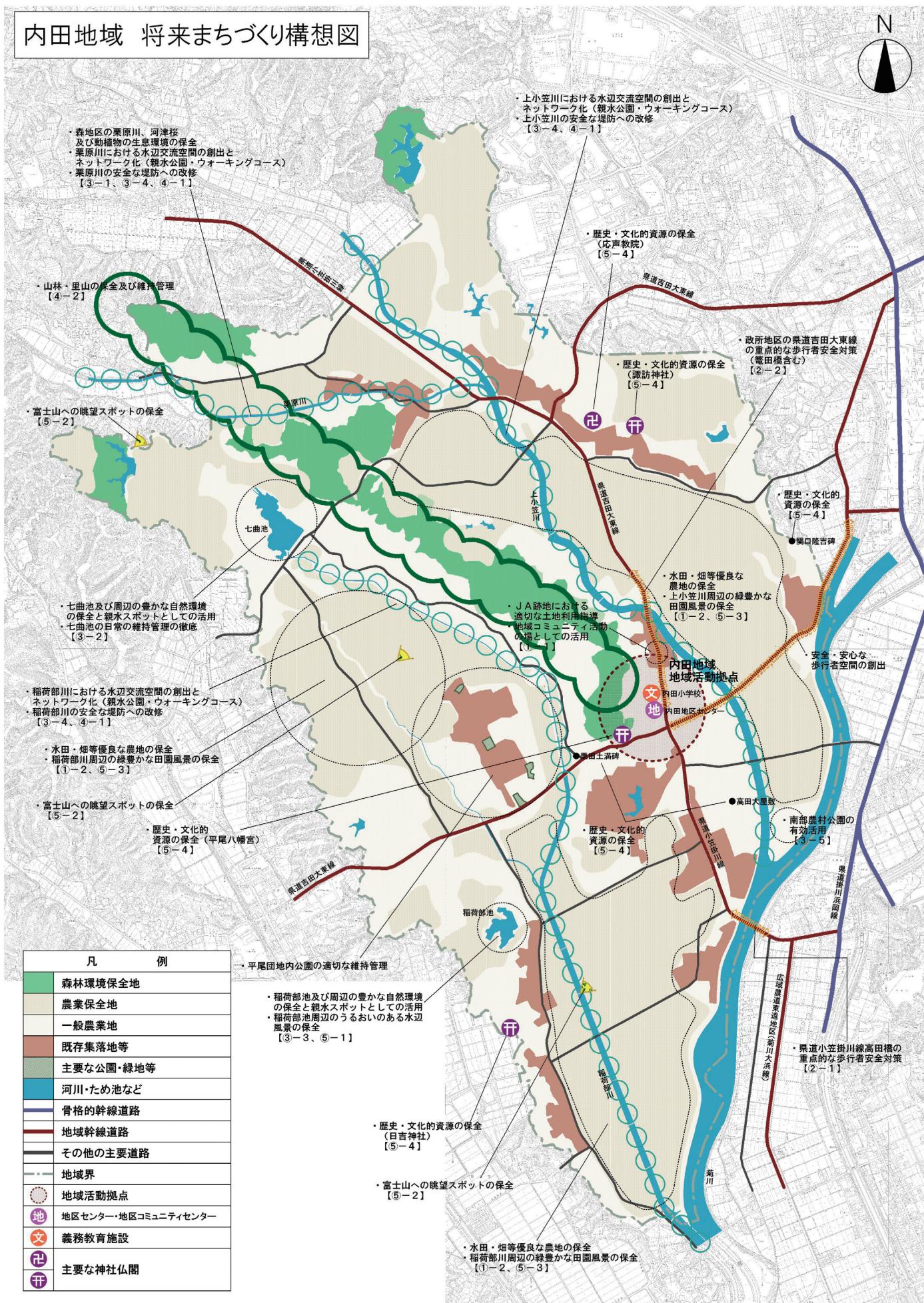
【参考】関連する提案・アイデア（地域協議会意見）

- ・「内田百選」の歴史ある場所の保全
- ・広報誌等による関口隆吉氏・栗田土満氏等の偉人のPRと記念祭等の企画立案（ウォーキングコースに取り入れる等）

他の提案・アイデア（地域協議会意見）

- ・コミュニティ農園の設置
- ・地域コミュニティを充実する場・機会の創出（まちづくり活動等を通しての在来集落と住宅団地の連携・交流促進、地域の一体化）
- ・安心・安全な地域とするための道路・公園・病院・老人ホーム等の整備

菊川市都市計画マスターplan
地域別構想編：内田地域将来まちづくり構想



菊川市都市計画マスターplan
地域別構想編：内田地域将来まちづくり構想

(参考：内田地域 まちづくりのアイデアの一例) ※将来まちづくり構想図関連

分類	図面番号	まちづくりのアイデアの一例 (地域協議会からの意見・提案)
土地利用及び市街地整備	①-1	■ JA 内田支店跡地を利用した地域の中核となる土地利用の誘導
	①-2	■ 水田・畑等優良な農地の保全
道路・公共交通	②-1	■ 県道小笠掛川線高田橋の拡幅及び歩道設置
	②-2	■ 政所地区の県道吉田大東線の拡幅・歩道設置（篠田橋含む）
自然環境と住環境及び公園緑地	③-1	■ 森地区の栗原川、河津桜及び動植物の生息環境の保全
	③-2	■ 七曲池及び周辺の豊かな自然環境の保全・整備
	③-3	■ 稲荷部池及び周辺の豊かな自然環境の保全・整備
	③-4	■ 上小笠川・稻荷部川・栗原川における水辺交流空間の創出とネットワーク化（親水公園・ウォーキングコース）
	③-5	■ 下内田地区グラウンド（上小笠川の菊川合流地点）の公園としての整備・活用促進
防災	④-1	■ 上小笠川・稻荷部川・栗原川の安全な堤防への改修
	④-2	■ 水がめとしての豊かな山林の保全
景観	⑤-1	■ 稲荷部池周辺のうるおいのある風景の保全
	⑤-2	■ 富士山への眺望スポットの保全
	⑤-3	■ 上小笠川・稻荷部川周辺の緑豊かな田園風景の保全
	⑤-4	■ 歴史・文化的資源の保全（應声教院・諏訪神社・平尾八幡宮・日吉神社等）

「地域別構想編 地域別 将来まちづくり構想」とは、

地域ごとのまちづくりの基本的な考え方や方向性を示した構想であり、事業実施が決定されたものではありません。

記載の大小・有無に関わらず、「まちづくりの推進方策 まちづくりの推進方針（190P）」において示すように、これから事業における構想の実現は、市民・事業者・行政が連携して検証・検討をはかり、計画を進めていくものです。